

# 第45回越後妙高コシヒカリマラソン大会

去る、10月12日(日)、新井総合公園陸上競技場をメイン会場に、秋晴れの快晴の中、ゲストランナーに尾崎好美選手(第一生命)を迎え、参加者約1300名を得て「第45回越後妙高コシヒカリマラソン大会」が開催されました。45回記念大会ということもあり、10kmコースとハーフコースが歴史ある「北国街道」を駆け抜けるコースに変更となりました。

台風による影響が懸念されましたが、朝から青空の広がる絶好のマラソン日和となりました。

開会式では、今大会ゲストランナーの尾崎選手の紹介、特別表彰(20回出場・遠来者)、妙高市が推奨しているラジオ体操が行なわれ、小学生5、6年女子3kmの部に出場の「安原理紗選手(新井RC)」が選手宣誓。

また、妙高高原中学校吹奏楽部マーチングバンドが演奏を披露し大会に花を添えました。

地元、妙高市・上越市はもとより、遠くは佐賀県より、各地から市民ランナー約1300名が、年代・男女別(全21種目)にレースが行われ秋の爽やかな風を切って健脚を競い合いました。



ハーフマラソンのスタート(尾崎選手も一緒に)



安原理紗さん(新井RC)の力強い選手宣誓

ゴール後には、完走者全員に妙高産新米コシヒカリのおにぎりとスポーツドリンクが配られ、参加者は渴いた喉と胃袋を満たしていました。走るランナーはもとより、来場者にも楽しんでもらえるべく、地元団体を中心に露店出店もあり大会を盛り上げていただきました。

何よりよかったことは、各地域の多くのスタッフ関係者に支えられ、大きな事故やケガがなく、成功裏に終了したことです。

来年も、一層、魅力ある大会を目指し、全国の皆さんの参加を大会関係者一同、心よりお待ちしております。



大会史上、初めて「北国街道」を駆け抜けました

○尾崎選手のコメント  
「浴道で応援してくださる方が多く、楽しく走ることができました。妙高市は、このトラック(競技場)を含め色々な運動ができる環境が整っており素晴らしい場所だと感じました。」



走り終わった後の新米「おにぎり」は格別!



# スポーツ

第45号

発行 2014/11/20

NPO法人  
スポーツクラブあらい  
研修広報部

## ●種目別優勝者

*男子ハーフマラソン(高校生~49歳).....新木 剛史(群馬県)	*60歳代以上男子5km.....塚田 義一(糸魚川市)
*男子ハーフマラソン(50歳以上).....轟 哲郎(長野県)	*小学生1・2年男子1.5km.....平澤 空(柏崎市)
*女子ハーフマラソン(高校生~39歳).....伊藤 昌子(長野県)	*小学生1・2年女子1.5km.....田邊 咲花(妙高市)
*女子ハーフマラソン(40歳以上).....鹿野恵利子(長野県)	*小学生3・4年男子2km.....上原 欽志(上越市)
*一般・高校男子10km.....藤澤 聡志(上越市)	*小学生3・4年女子2km.....加藤茉衣子(上越市)
*一般・高校女子5km.....古川 恵里(妙高市)	*小学生5・6年男子3km.....越 陽汰(長野県)
*一般女子3km.....竹内 夕佳(上越市)	*小学生5・6年女子3km.....小海 遥(妙高市)
*一般・高校男子5km.....関口 修(埼玉県)	*中学生男子5km.....江口 亮太(妙高市)
*40歳代男子5km.....井上 弘至(埼玉県)	*中学生女子3km.....森山 優香(妙高市)
*50歳代男子5km.....南藤 宏和(奈良県)	*ファミリー駅伝(1.3km×3) 平澤家(平澤海・翔太・孝志)

## 優勝者の声

・小学校5・6年女子3km 優勝  
小海 遥さん(チームあっちゃん)  
「最後まであきらめないで走ることができ、優勝して良かったです。」

・中学生女子3km 優勝  
森山 優香さん(妙高中学校)  
「優勝できるとは思わなかったのですが、うれしいです。」

・一般・高校生女子5km 優勝  
古川 恵里さん(新潟第一高校)  
「タイムは昨年より落ちてしまいましたが、二連覇できて良かったです。」